

10-15 景観・風景

10-15-1 発電所の存在に伴う景観・風景への影響

(1) 調査結果

1) 現地調査

① 現地調査期日

調査期日は表 10-15-1 に示すとおりである。

表 10-15-1 景観・風景の現地調査期日

調査項目	調査期日
主要な眺望地点の状況、 地域の風景を代表する地 点の位置及び状況	平成24年7月30日(夏季)
	平成24年10月13日(秋季)
	平成25年3月1日(冬季)
	平成25年5月4日(春季)

② 主要な眺望地点の状況と地域の風景を代表する地点の位置及び状況

設定した4地点及び2ルートから撮影した景観・風景は図 10-15-1(1)～(9)に示すとおりである。なお、景観・風景の調査地点位置図は「9-15 景観・風景 図 9-15-1～2」に示したとおりである。

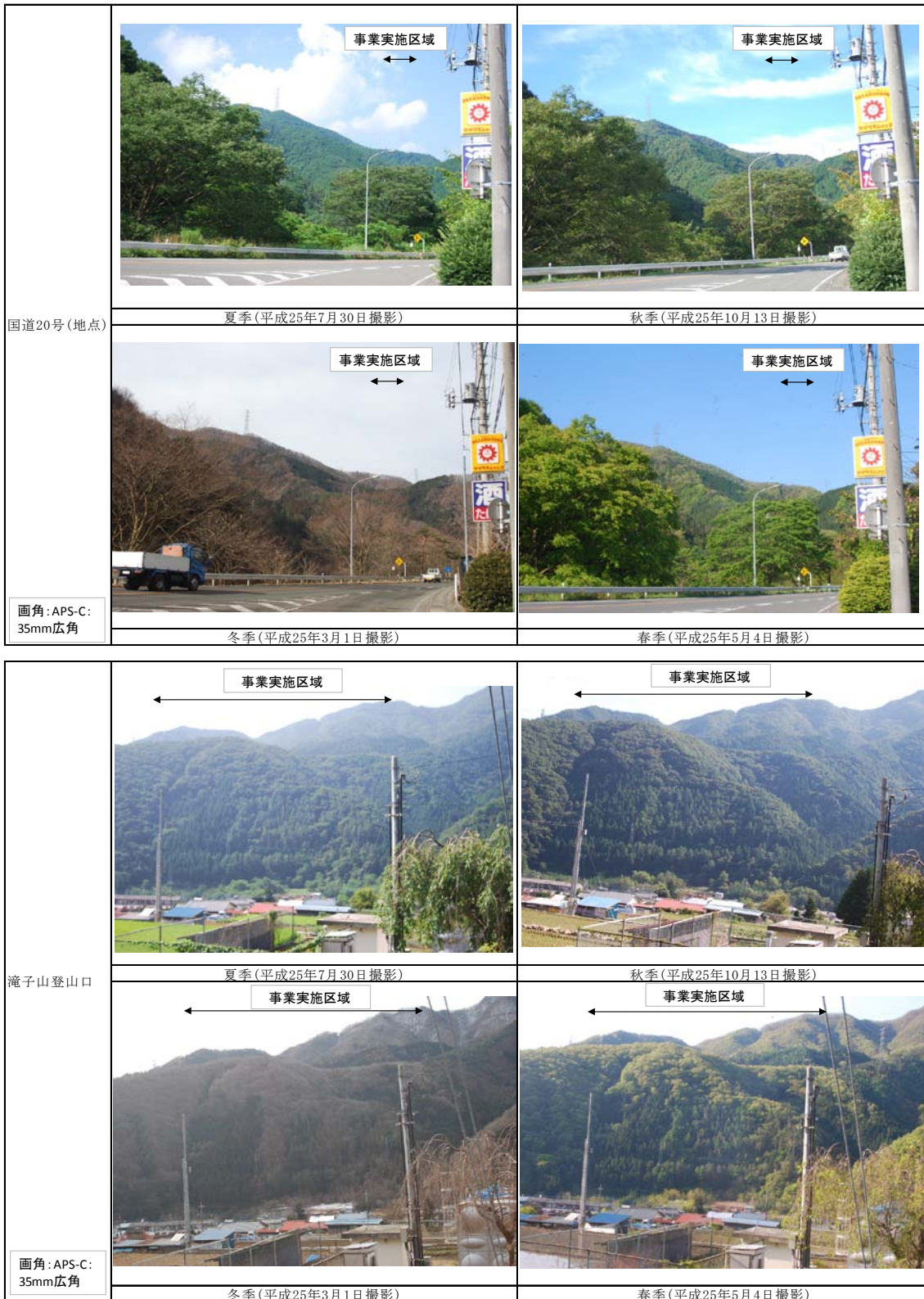


図 10-15-1(1) 各調査地点における眺望の状況

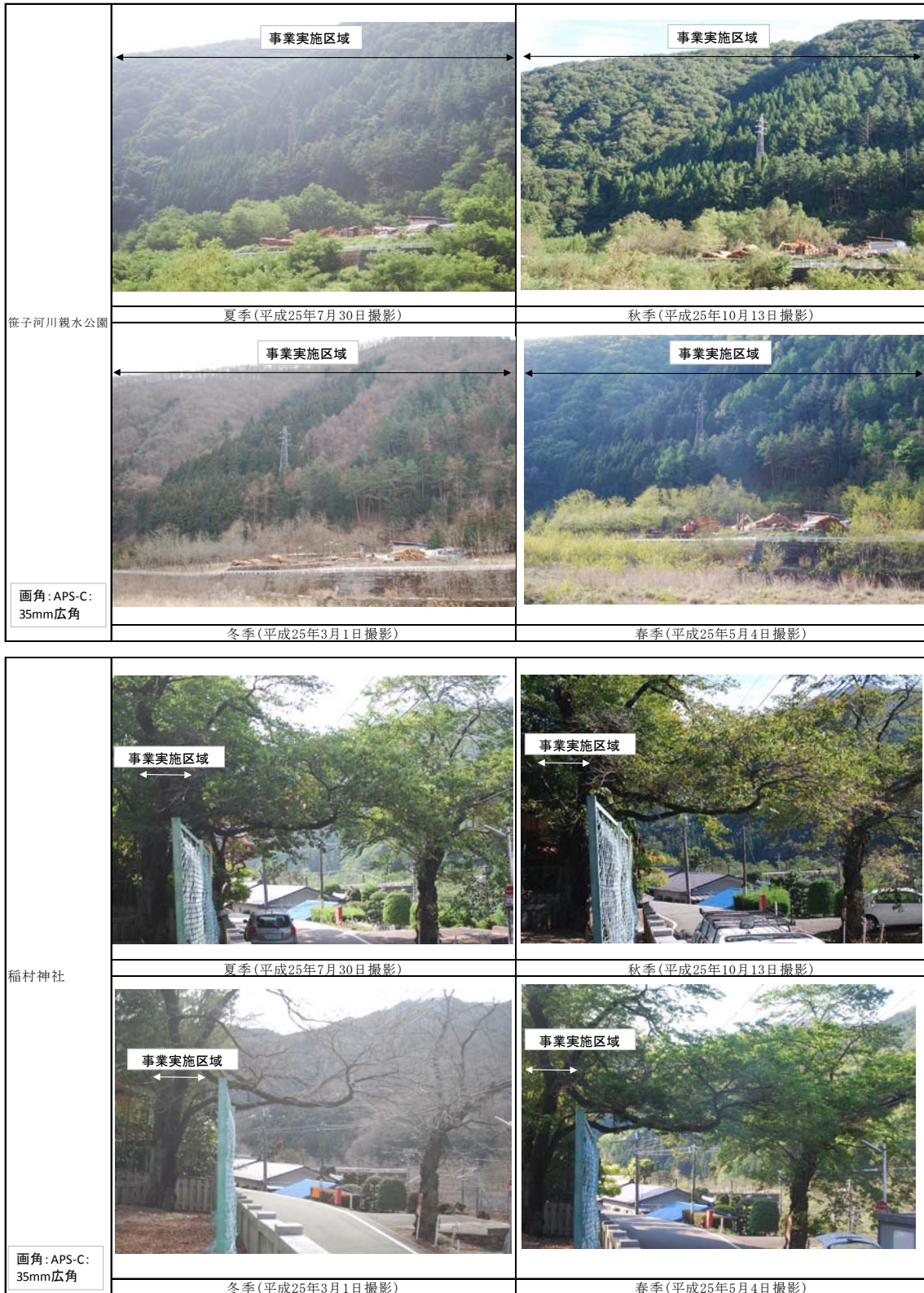


図 10-15-1(2) 各調査地点における眺望の状況



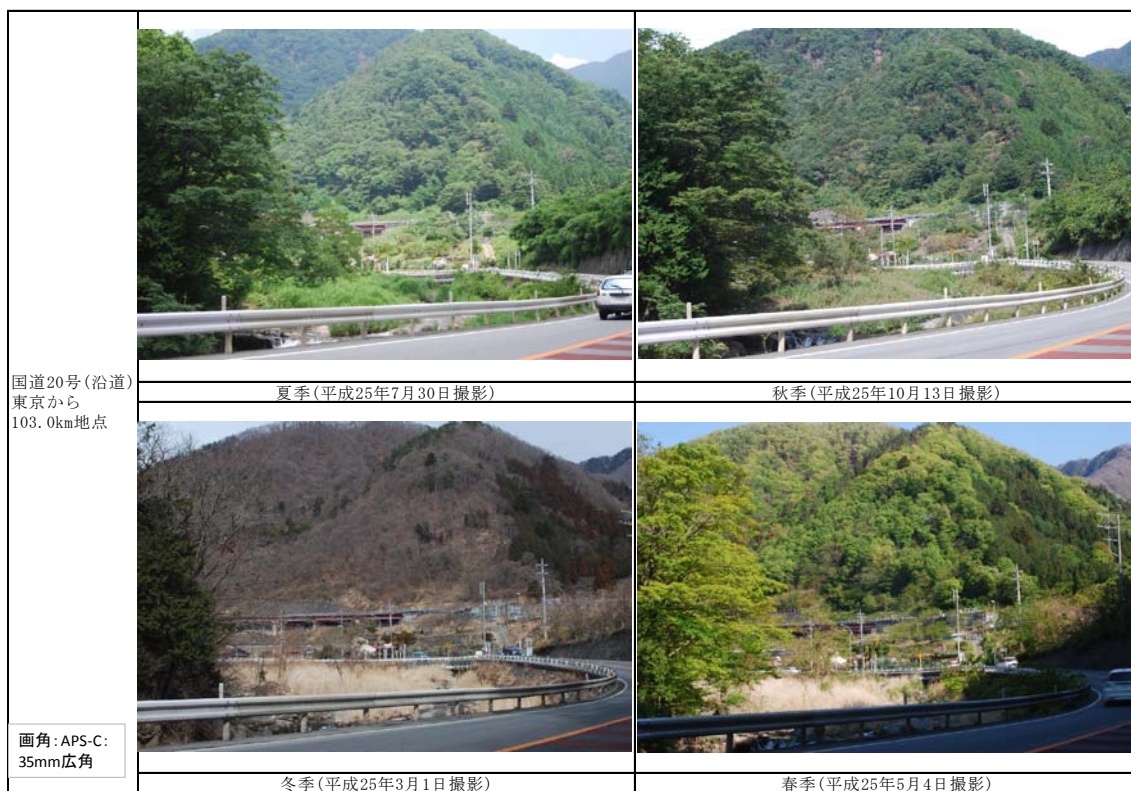


図 10-15-1 (3) 各調査地点における眺望の状況

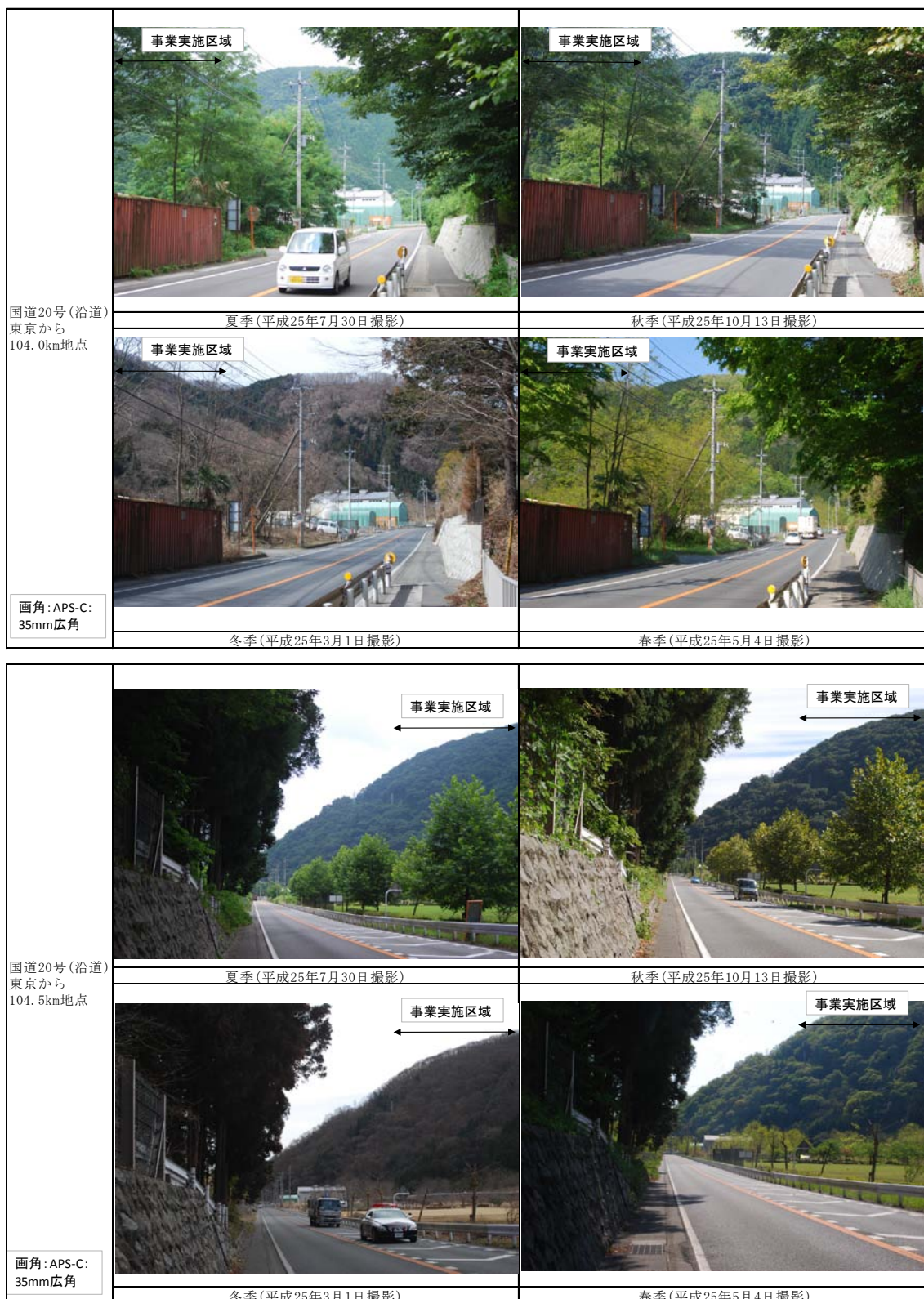


図 10-15-1(4) 各調査地点における眺望の状況



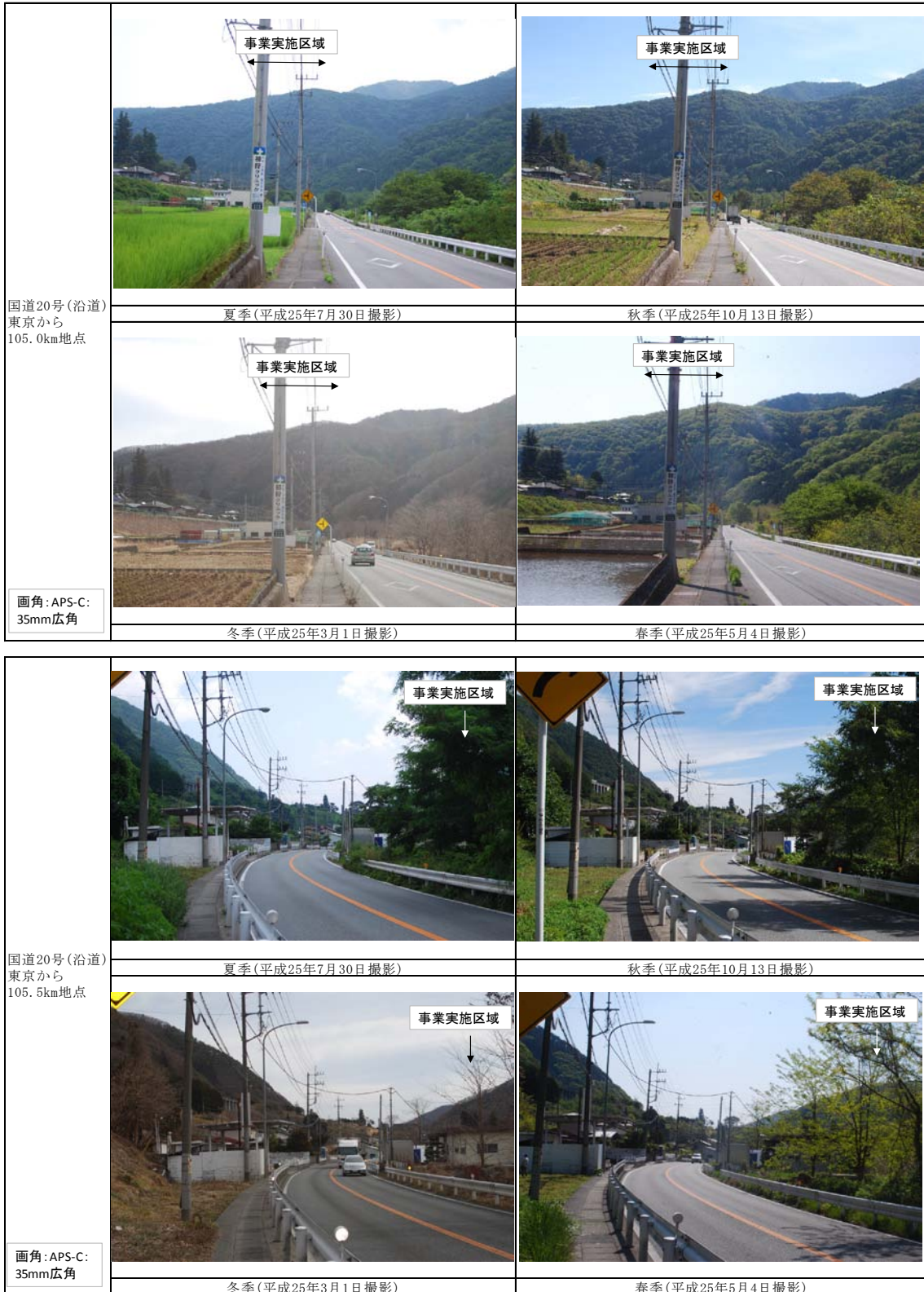


図 10-15-1(5) 各調査地点における眺望の状況

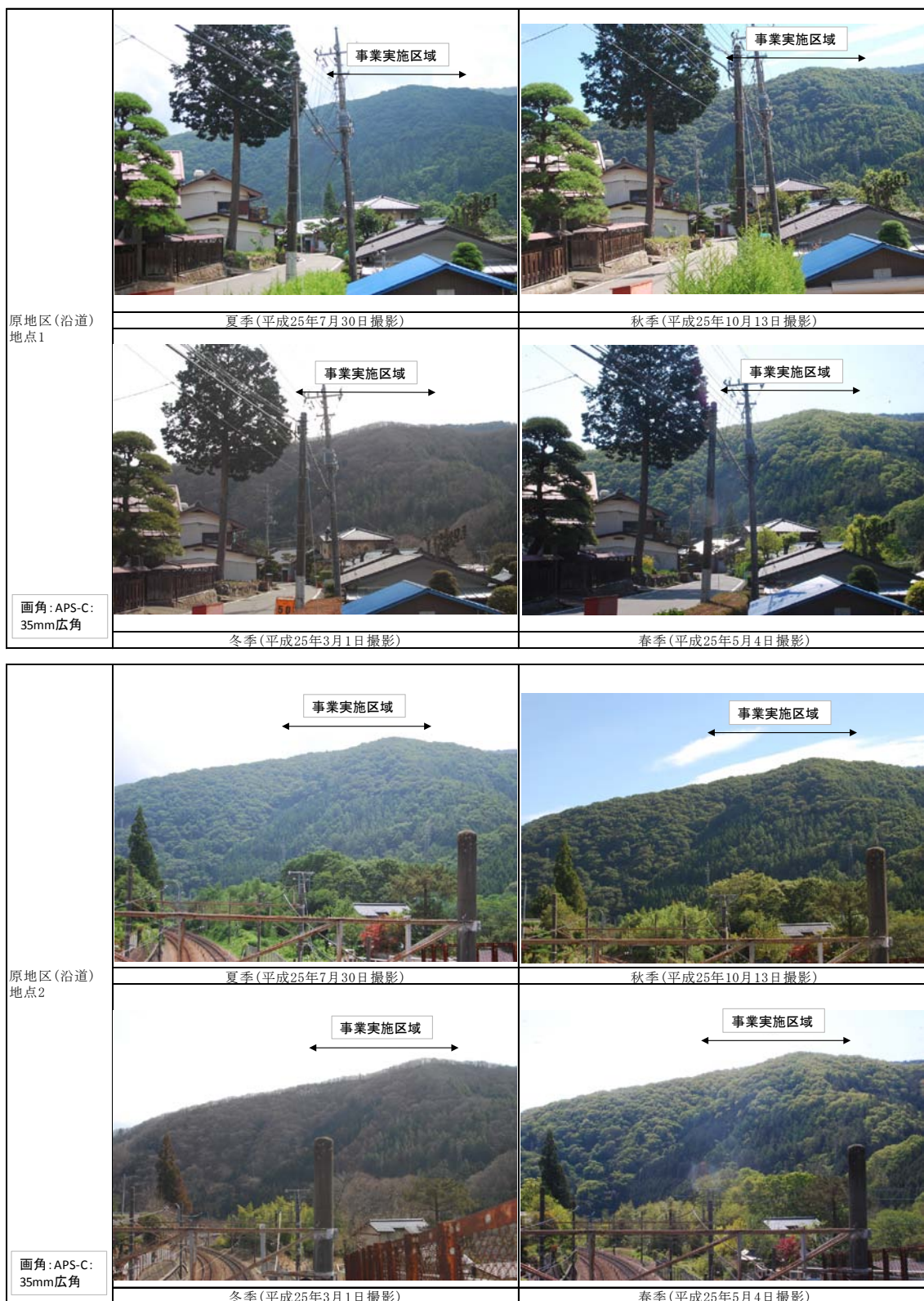


図 10-15-1(6) 各調査地点における眺望の状況



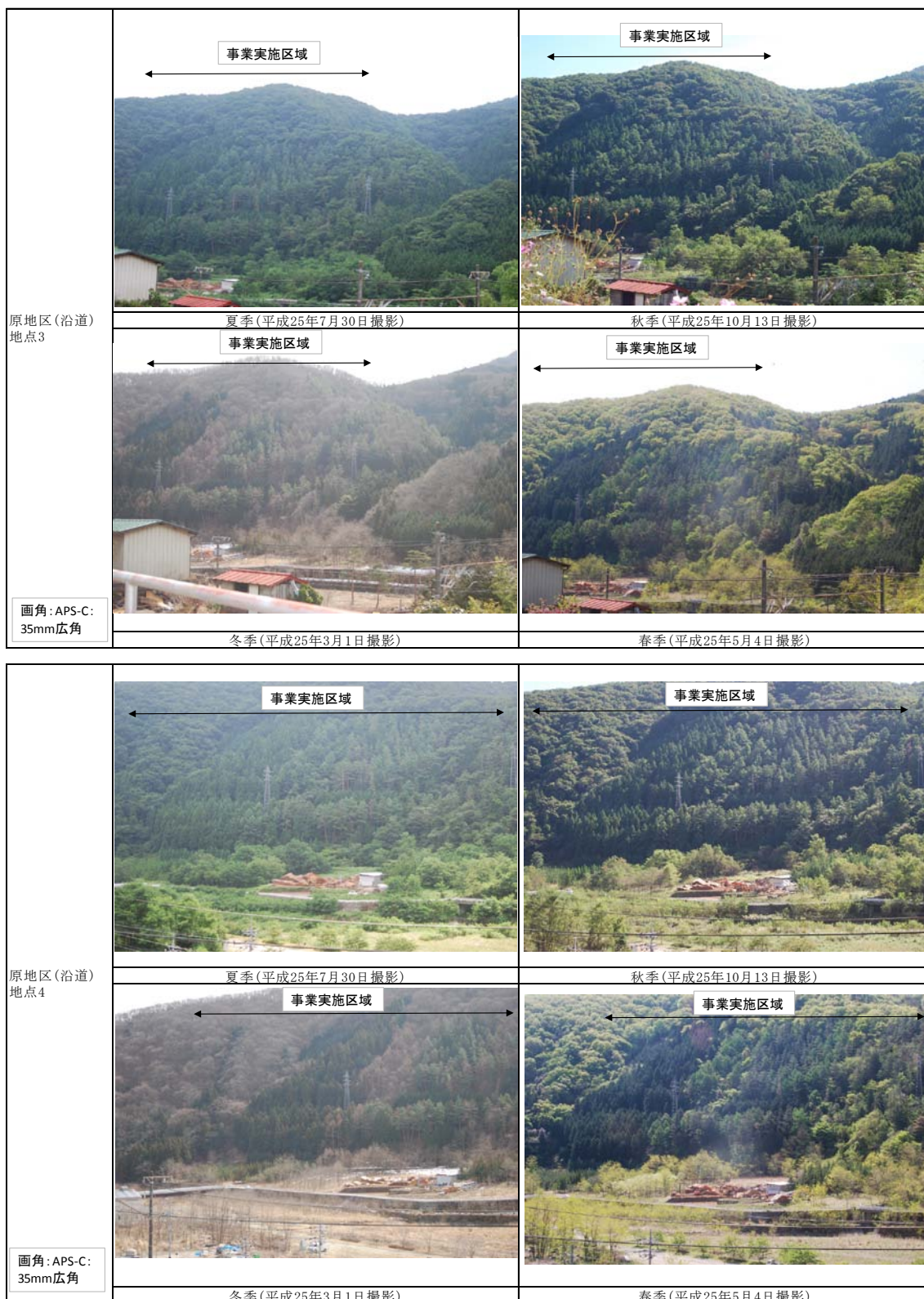


図 10-15-1(7) 各調査地点における眺望の状況



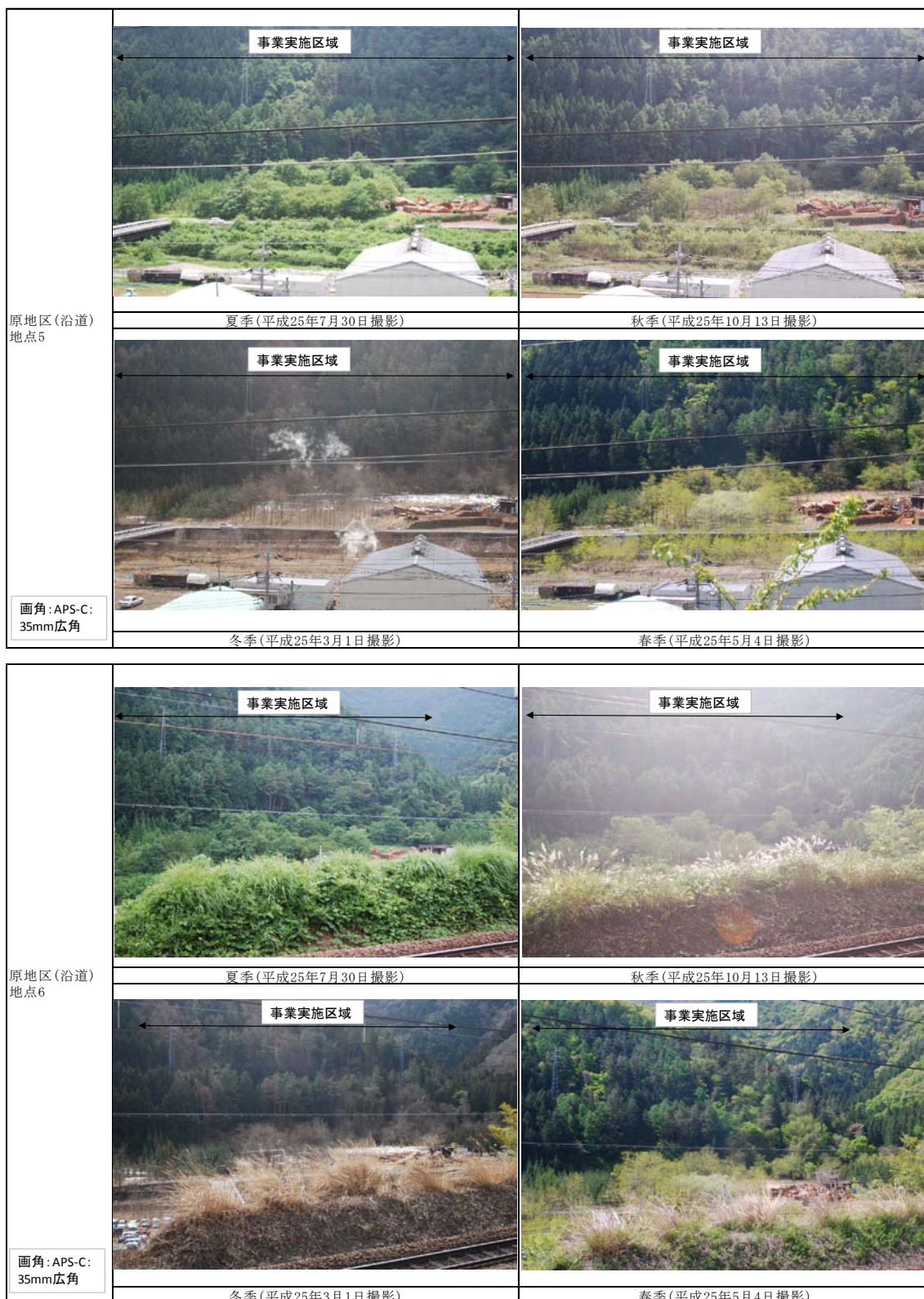


図 10-15-1 (8) 各調査地点における眺望の状況



図 10-15-1 (9) 各調査地点における眺望の状況



(2) 予測及び評価の結果

1) 予測項目

予測項目は、発電所の存在による景観・風景への影響として主要な眺望点からの景観の変化の程度とした。

2) 予測方法

事業計画に基づき、景観予測図(フォトモンタージュ)の作成による検討を行い、予測地点及びルートから風景の変化を予測する手法とした。

3) 予測地点・ルート

予測地点及びルートは景観・風景の調査地点及びルートと同様とした。

4) 予測時期

予測時期は新たな工作物が存在する時点とした。なお、景観予想図については冬季(落葉期)を対象に作成し、ここではより発電所が視認しやすい落葉期について予測することとした。

5) 予測条件

① 予測及び評価の対象とする複数案

ア. 予測対象とする環境影響要因の考え方

景観の予測・評価は発電所の煙突高の複数案について検討することとする。発電所の煙突高については、表 10-15-2 に示すとおり複数案があり、この複数案の違いによって景観への違いが考えられる。

表 10-15-2 発電所の煙突高の複数案に関する景観への影響の特徴

複数案	景観への影響の特徴
煙突高	
1案 35m	2案、3案に比べ影響が少ない
2案 50m	1案に比べ影響が大きく、3案に比べ影響が少ない
3案 70m	1案、2案に比べ影響が大きい

② 予測及び評価を行う複数案

煙突高については、高さの違いにより景観への影響が異なること、35m(1案)では視認できない場合でも 50m(2案)の場合に視認される可能性のあること、70m(3案)の場合の影響が最も大きいと想定されることから、煙突高については全ての案を「地域の風景の変化の程度」の予測・評価の対象とする。

発電所の存在による景観への影響については表 10-15-3 に示すとおり 3 ケースについて予測・評価を行う。

表 10-15-3 予測・評価を行う複数案の組み合わせ

環境影響要因		複数案	
		予測ケース	煙突高
存在・供用時	施設の存在による景観(最大高24m) ※設計当初の計画による	ケース1	35m
		ケース2	50m
		ケース3	70m

6) 予測結果

予測結果は表 10-15-4 及び図 10-15-3(1)～図 10-15-17(2)に示すとおりである。本事業に伴う新たな発電所や煙突の出現により、里山景観の一部が消失し、地域の風景が変化する。

風景の変化の程度が最も大きい地点・ルートは笹子河川親水公園、国道 20 号沿道の東京から 104. 0km 前後 100m のルート及び原地区沿道と予測される。風景の変化の程度を示す地点及びルートを図 10-15-2 に示す。

この他、すべての予測地点、ルートにおいて発電所の存在による山の稜線(スカイライン)の分断は発生しないものと予測されるが、煙突高を 70m と高くした場合には一部の地点でその分断が予測される。

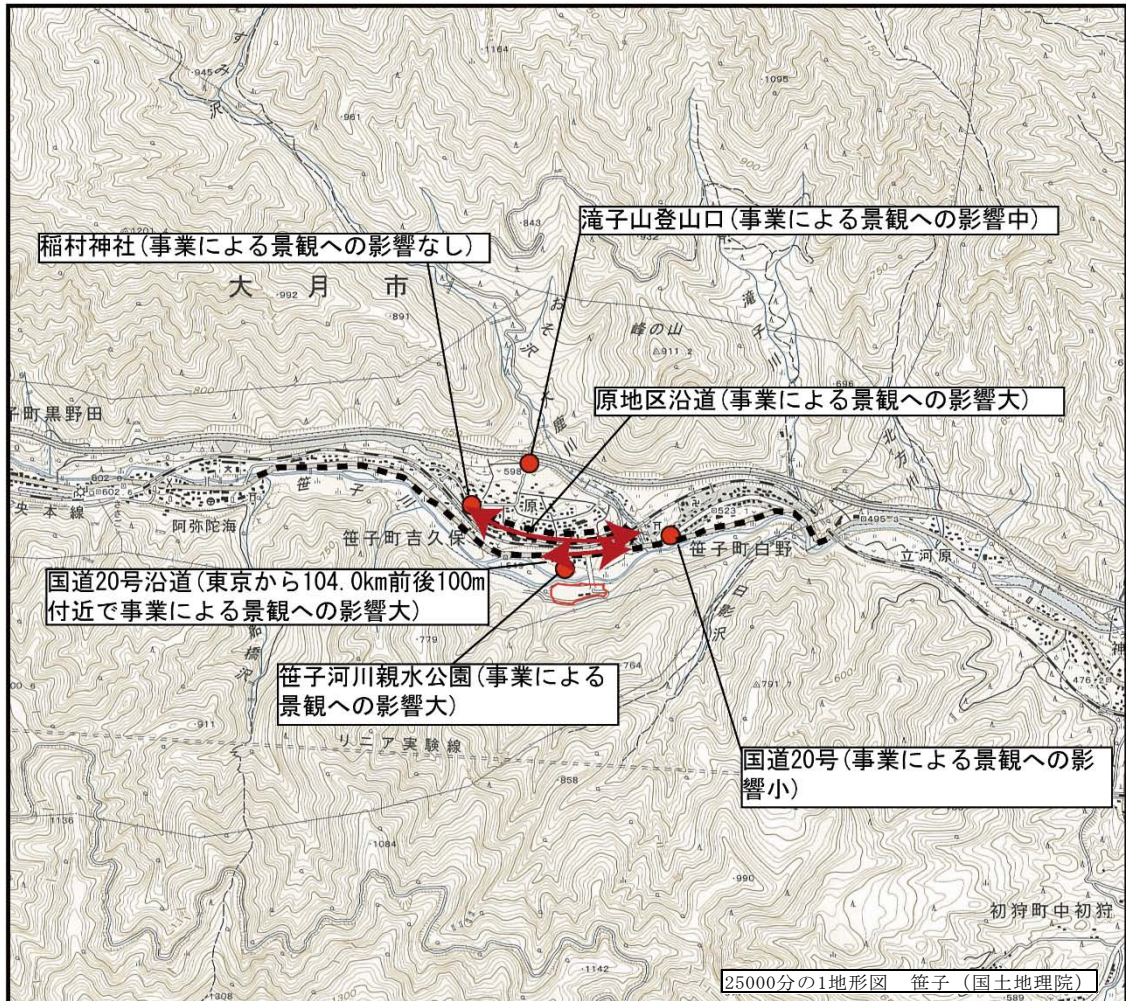
このため、煙突高を低く配置することで発電所の存在による風景の変化が少なくなるものと予測される。

表 10-15-4 景観・風景予測結果

番号	場 所	眺望位置・ルート	計画地からの距離	予測結果	事業における景観の変化の度合い
1	国道20号(地点)	白野地区入口との交差点	計画地から直線距離で約400m	煙突の先端付近が突出し、風景が変化すると予測される。	小
2	滝子山登山口	原地区北側の高架橋前	計画地から直線距離で約600m	発電所及び煙突により、風景が変化すると予測される。	中
3	笹子河川親水公園	笹子河川公園内	計画地から笹子川を渡り対岸の位置	発電所及び煙突により、風景が大きく変化すると予測される。	大
4	稲村神社	境内入口	計画地から直線距離で約400m	現地調査の結果、発電所及び煙突の可視範囲外であったため、発電所稼働後も風景は変化しないものと予測される。	無
5	国道20号(ルート)	笹子川・滝子川合流点下流から笹子川・船橋沢合流点までの間約2km	計画地から直線距離で東端約1.0km、西端約1.2kmの区間	東京から103.5km付近から、105.0km付近までの位置から煙突の先端が突出し、風景が変化すると予測される。特に104.0km前後100m付近では煙突のほか発電所が出現し、大きく風景が変化すると予測される。	一部大
6	原地区沿道(ルート)	国道20号分岐点から稲村神社までの間約800m	計画地から直線距離で東端約200m西端約400mの区間	発電所及び煙突により、風景が大きく変化すると予測される。	大

備考) 計画地からの位置関係については、対象事業実施区域の中心を起点とした場合の位置関係である。





## 凡例

- : 計画地
- : 景観・風景調査地点
- : 景観・風景調査ルート

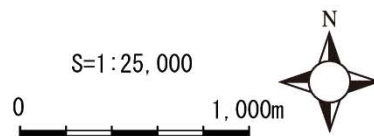
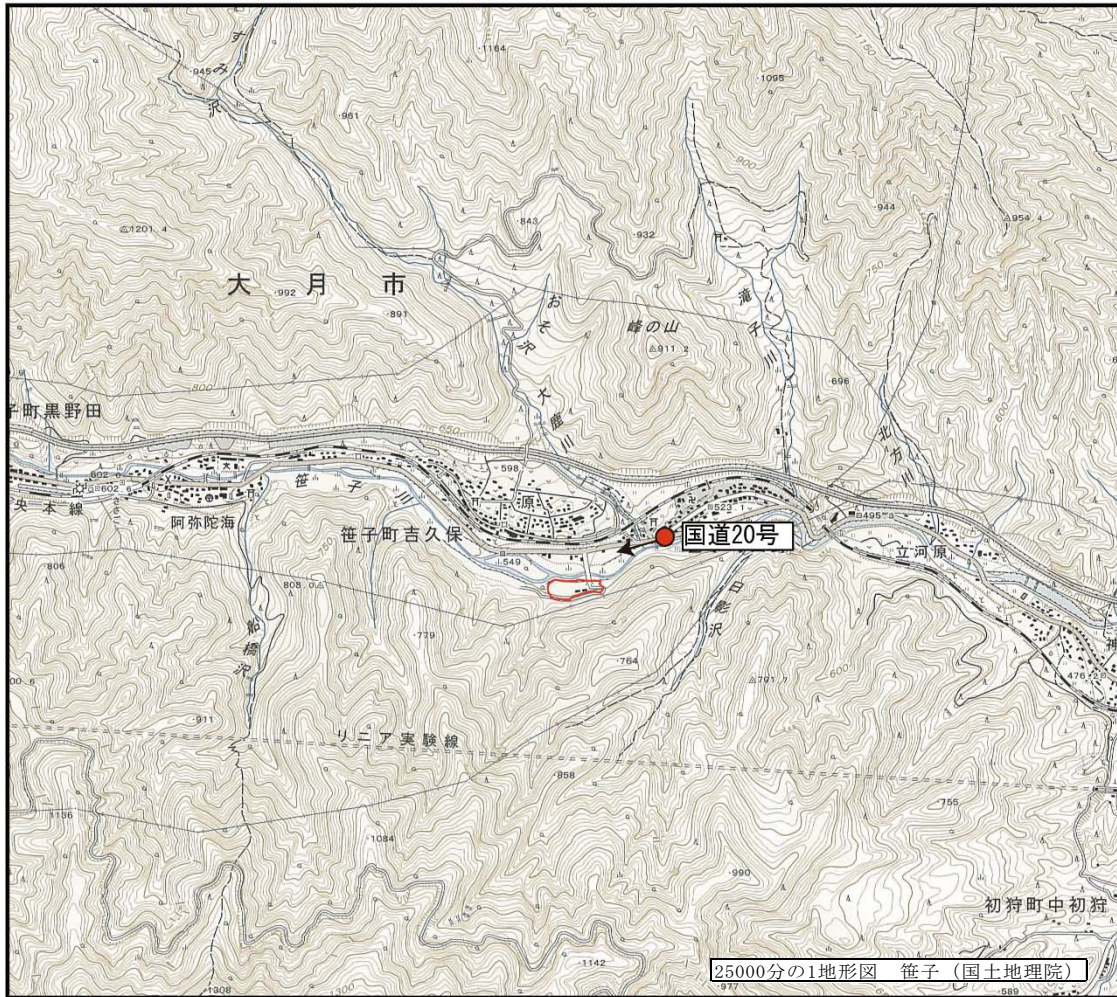


図 10-15-2 景観・風景予測結果





## 凡 例



:計画地



:景観・風景調査地点 (→は撮影方向)

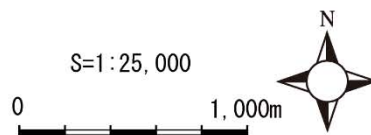


図 10-15-3(1) 景観地点位置図 (国道 20 号)



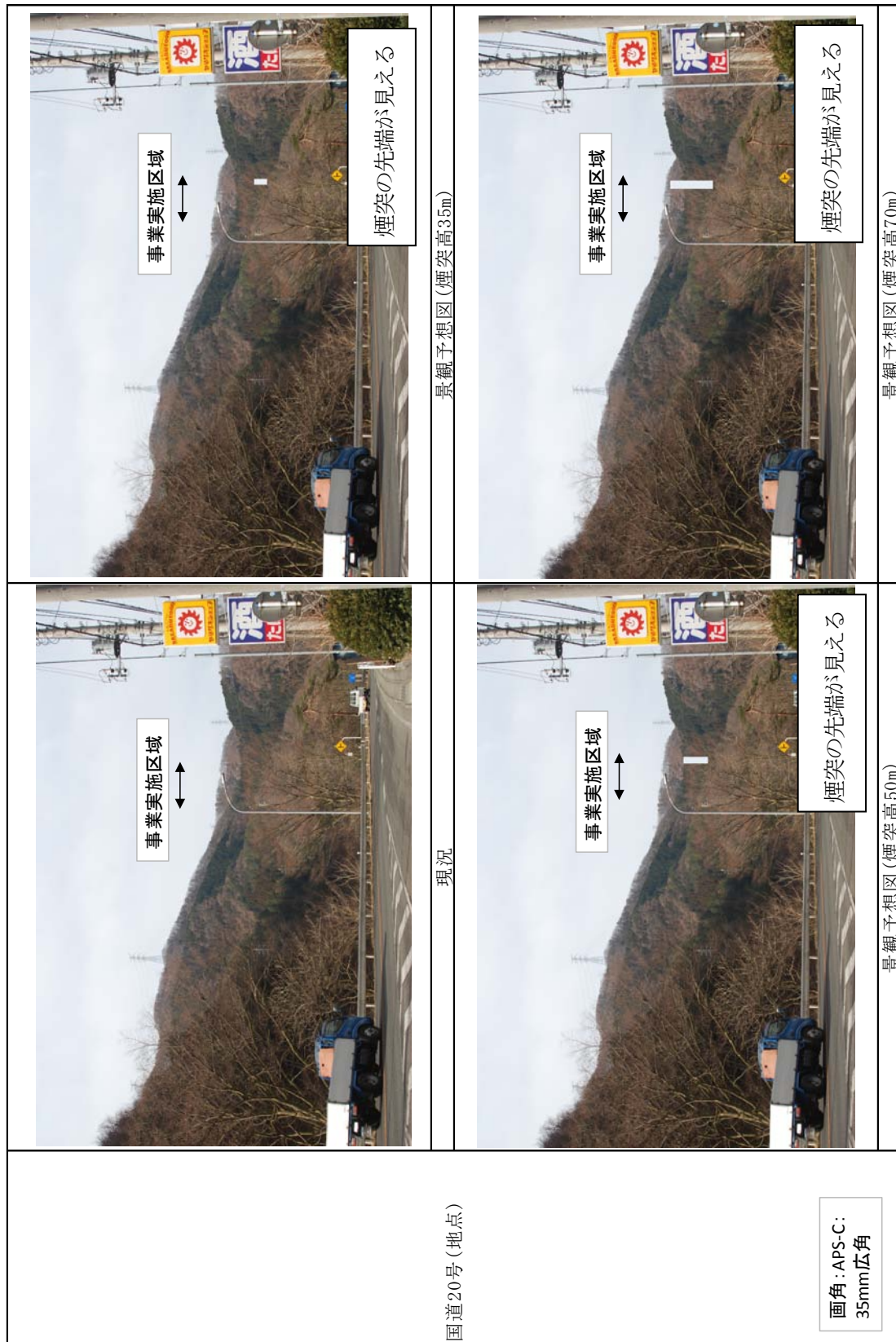
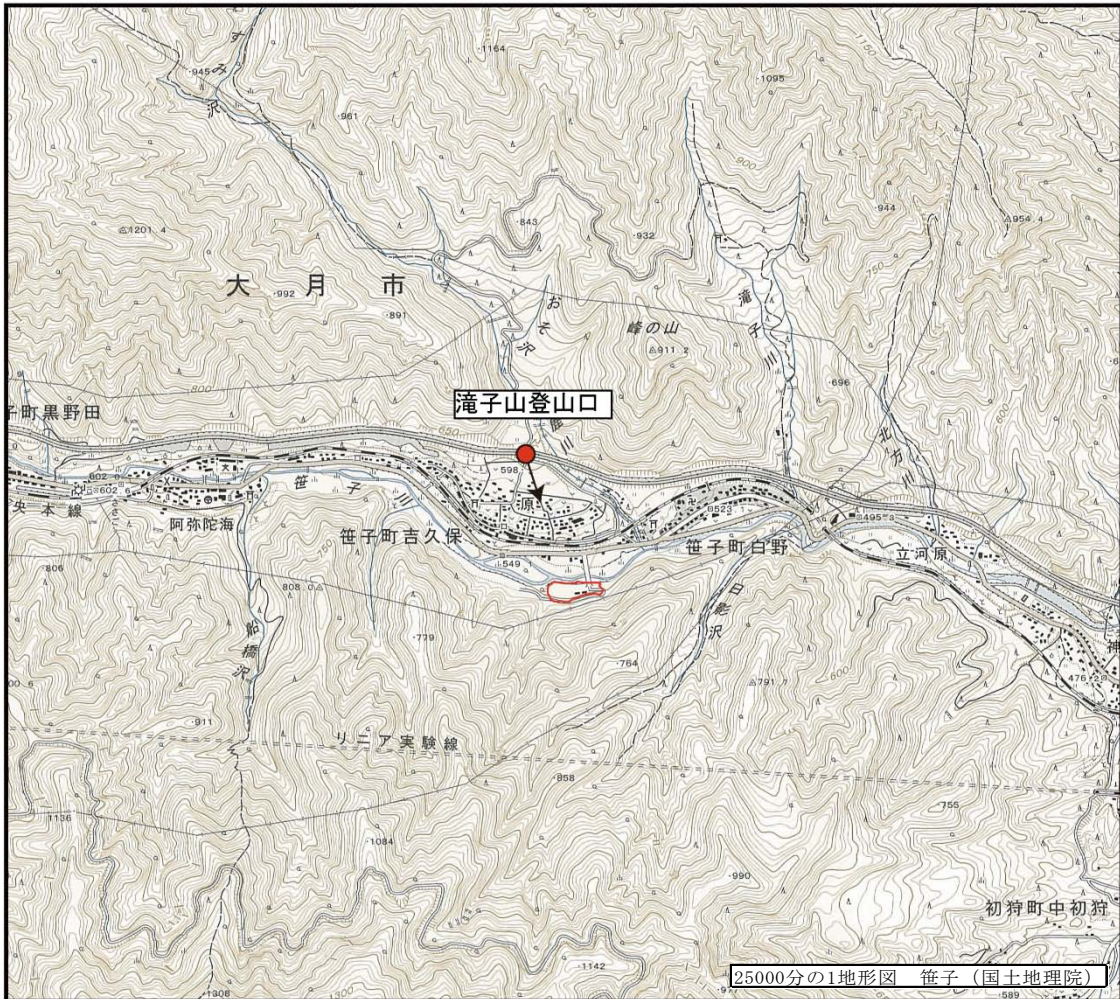



図 10-15-3(2) 景観予想図(国道 20 号)



## 凡例

 : 計画地

 : 景観・風景調査地点 (→は撮影方向)

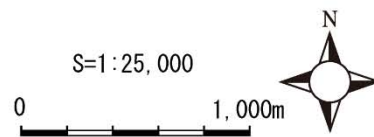


図 10-15-4(1) 景観地点位置図 (滝子山登山口)



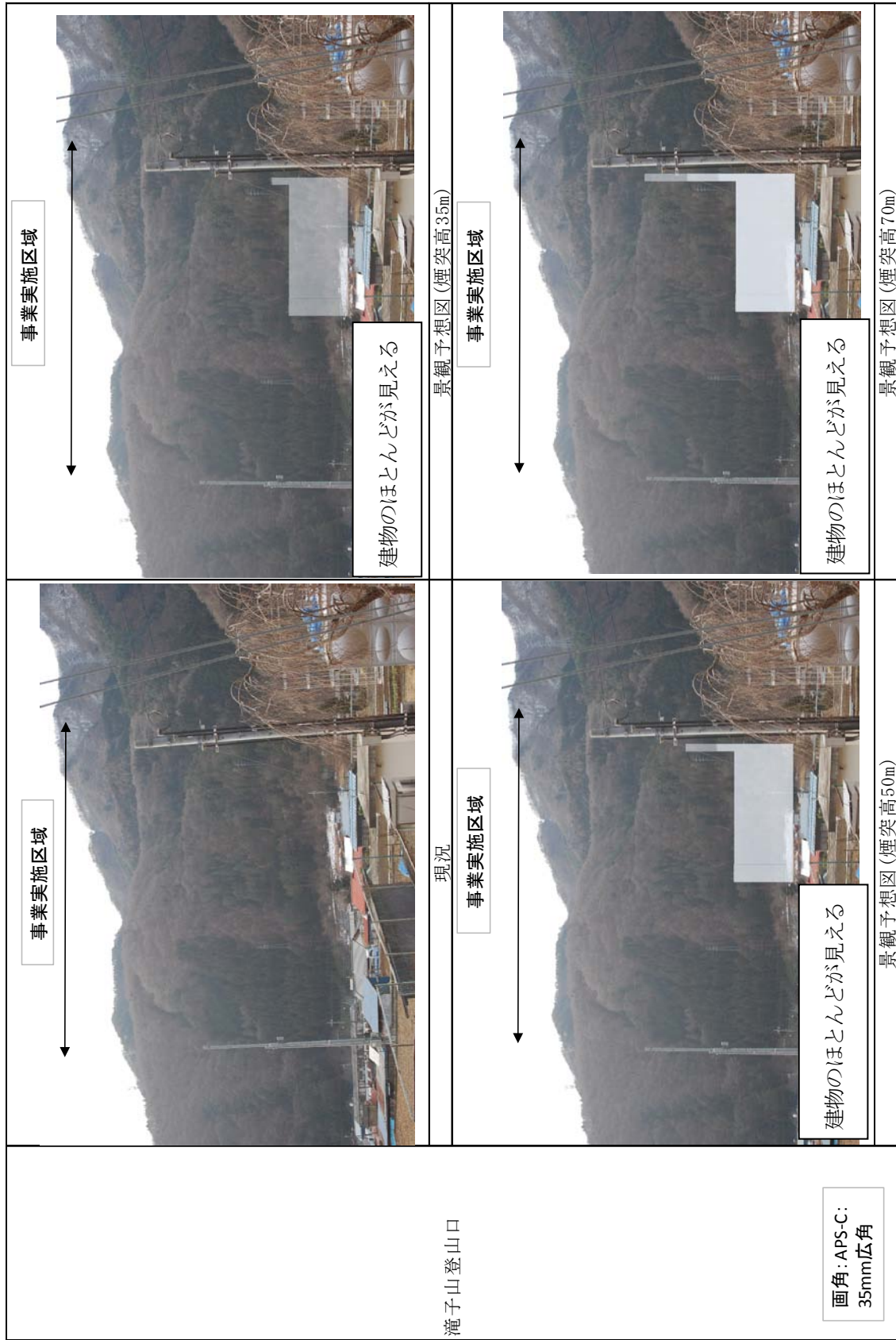
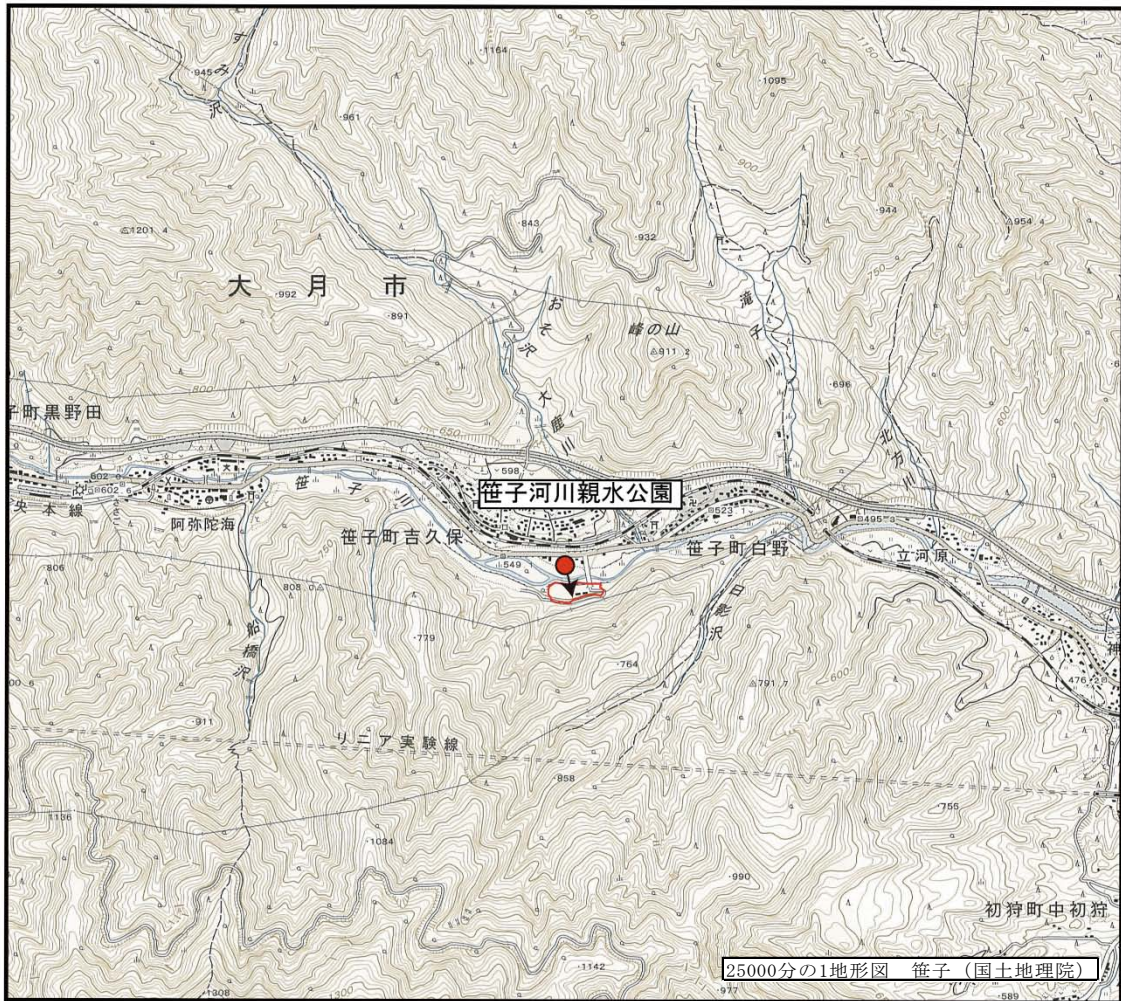


図 10-15-4(2) 景観予想図(滝子山登山口)



## 凡例



: 計画地



: 景観・風景調査地点 (→は撮影方向)

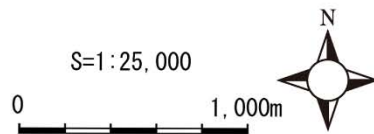


図 10-15-5(1) 景観地点位置図 (笹子河川親水公園)



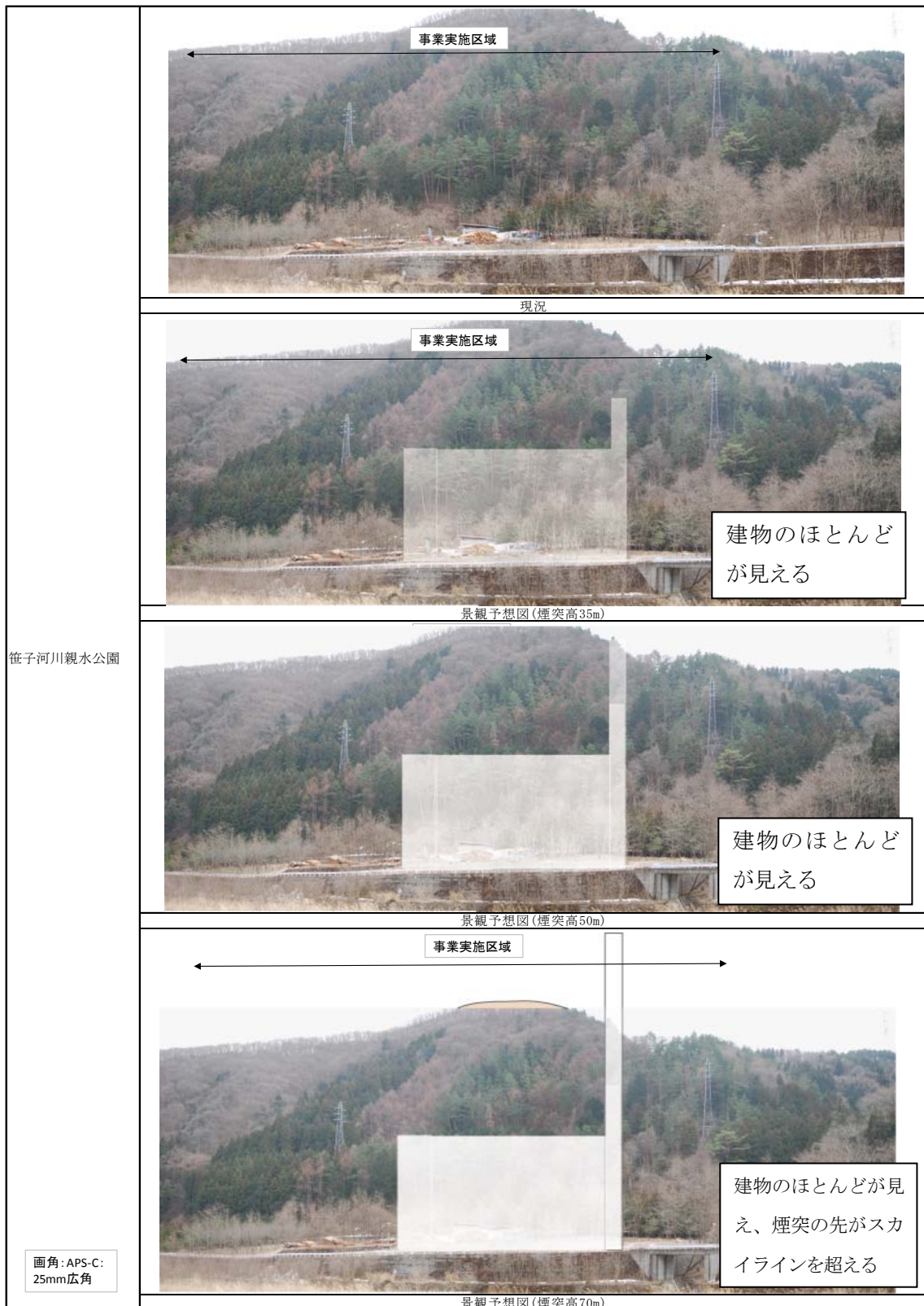
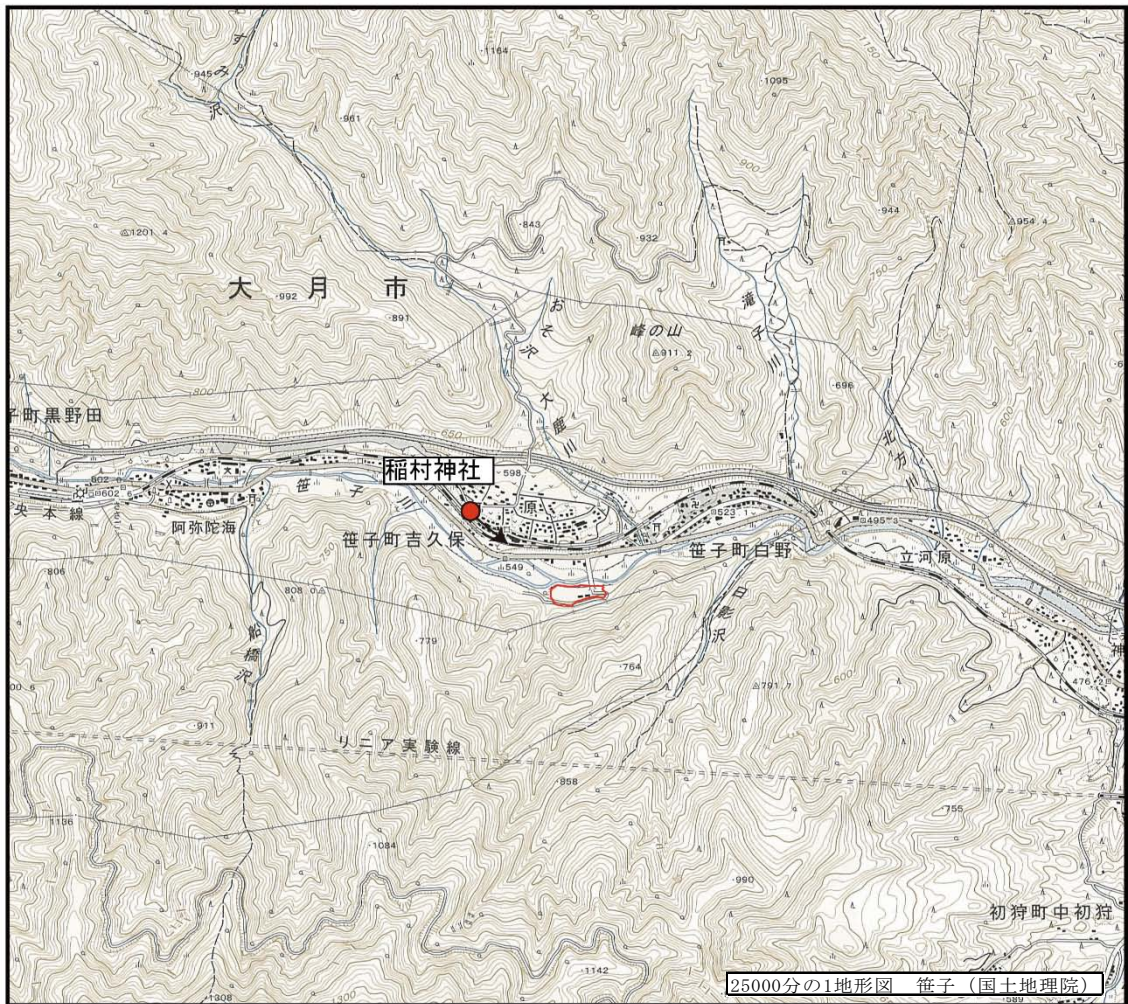



図 10-15-5 (2) 景観予想図(笹子河川親水公園)



## 凡 例

 : 計画地

 : 景観・風景調査地点 (→は撮影方向)

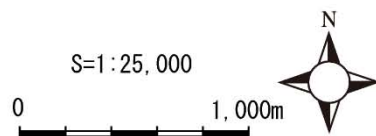
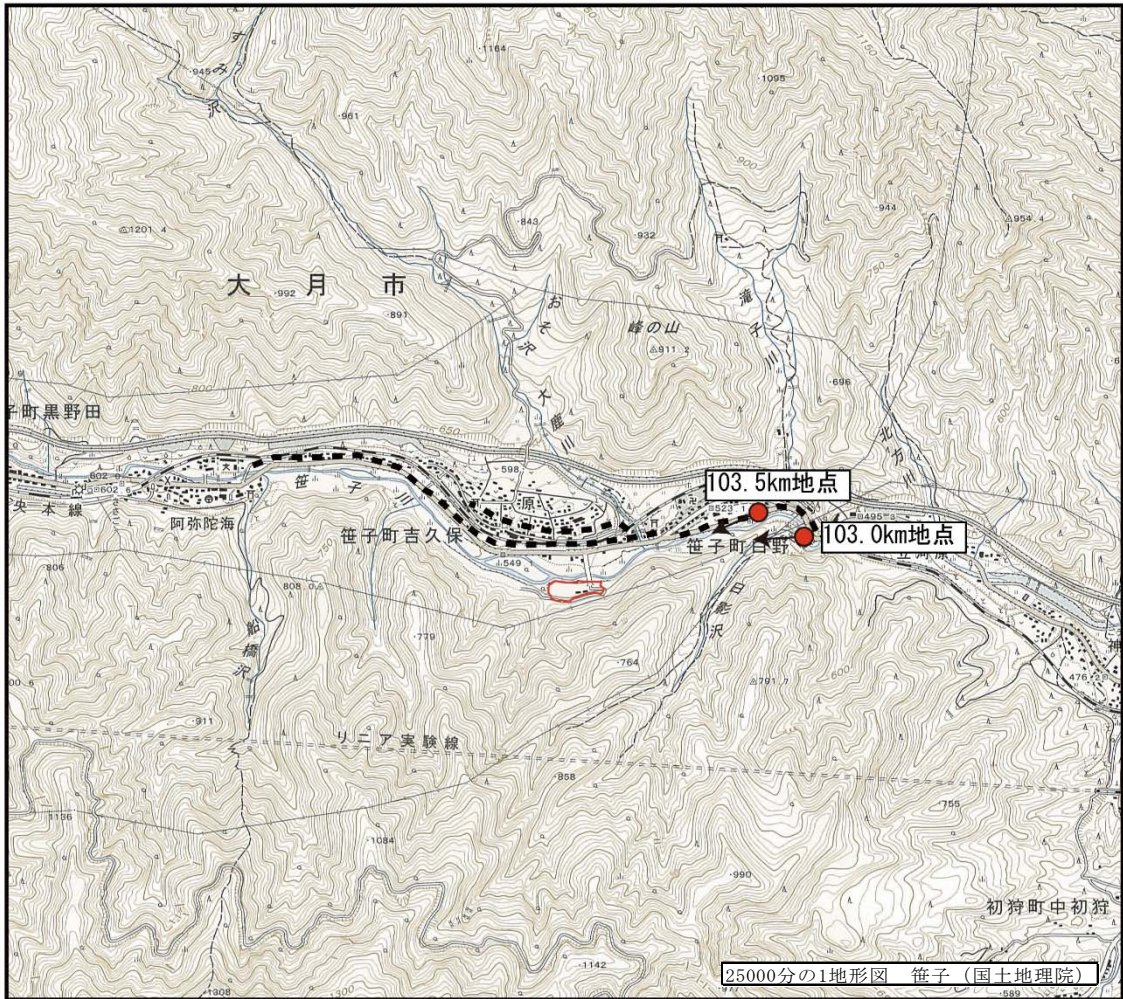


図 10-15-6(1) 景観地点位置図 (稲村神社)





図 10-15-6 (2) 景観予想図(稲村神社)



## 凡 例

- : 計画地
- : 景観・風景調査地点 (→は撮影方向)
- : 景観・風景調査ルート

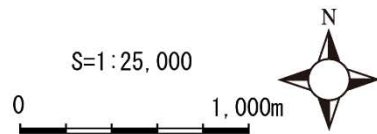


図 10-15-7(1) 景観地点位置図(国道 20 号沿道・東京から 103.0、103.5km)



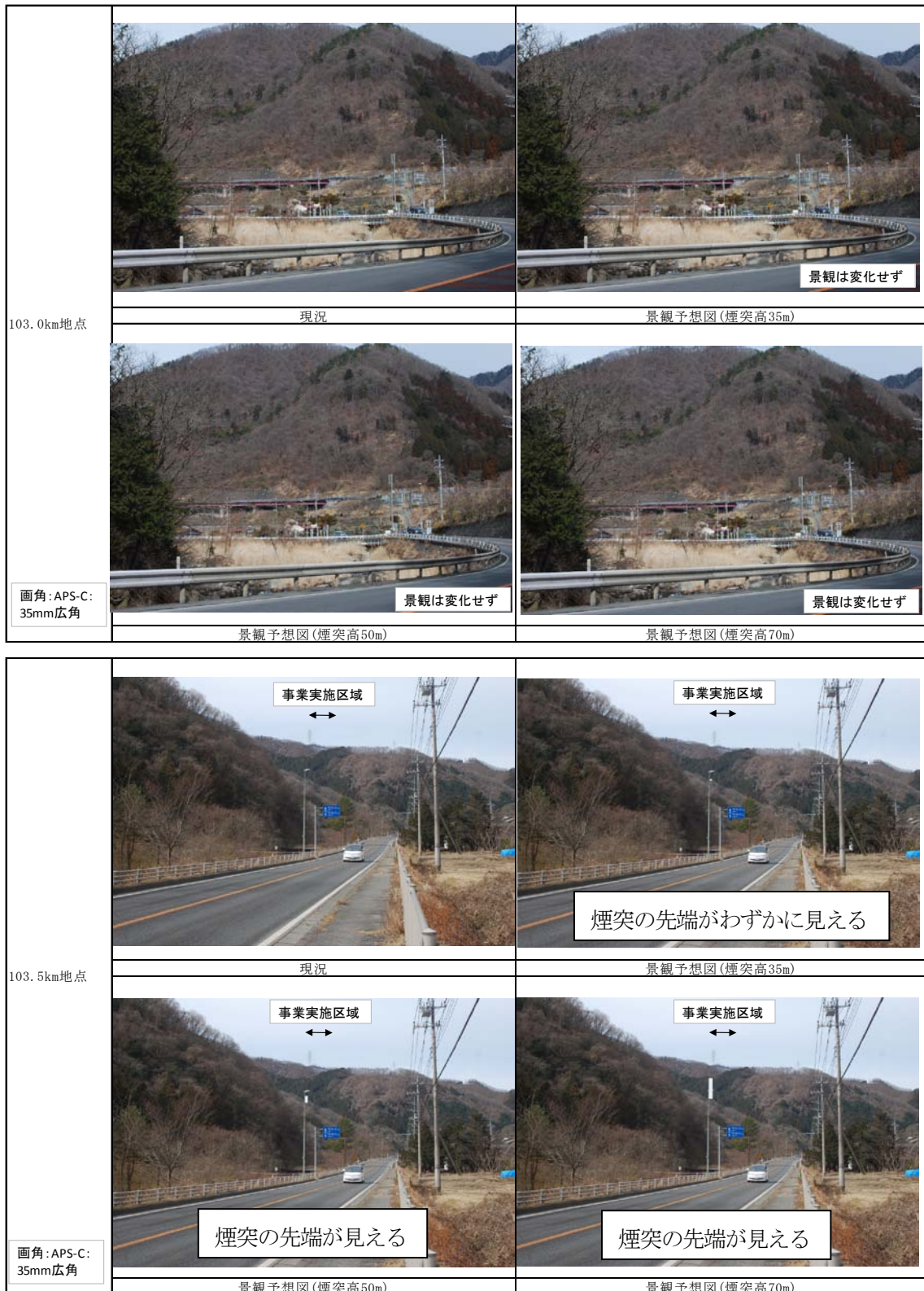


図 10-15-7(2) 景観予想図(国道 20 号沿道・東京から 103.0、103.5km)